ご挨拶

北海道建築技術協会は、会員の建築技術の向上はもちろんのこと、建築技術を通して建築界の信頼性を高め、社会的にも貢献したいと考えております。

協会の活動は、研究会（メーソンリー、外断熱、建築診断、木質構造、環境・設備・エネルギー）と事業（受託調査研究、BIS認定、リフォーム、コンサルタント）などを通して行っています。

会員は研究会活動などに自由に参加でき、また会報などによって関連情報が得られます。

研究会の成果や建築技術に関する話題などの講演会や研修会、建設現場や建物・施設の見学会にも参加できます。

会員や活動は北海道内に限定していませんので、道内はもとより全国から多くの方が会員として加わっていただき、本協会の活動に積極的に参加していただきたいと思っております。

一般社団法人北海道建築技術協会　会長　**平井 卓郎**

沿革

1952年	前身の北海道建材ブロック協会設立
1953年	北海道建材ブロック協会を社団法人化
1979年	北海道ブロック建築普及促進協議会発足
1983年	外断熱施工研究会発足
1986年	北海道ブロック建築普及促進協議会を北海道メーソンリー建築協議会に改称
1992年	北海道建築診断研究会発足
1994年	外断熱施工研究会を北海道外断熱建築協議会に改組改称
1995年	社団法人北海道建材ブロック協会を社団法人北海道メーソンリー建築協会に改称し、同時に北海道メーソンリー建築協議会を加える
2004年	社団法人北海道メーソンリー建築協会に北海道外断熱建築協議会、北海道建築診断研究会が加わり、社団法人北海道建築技術協会に改組・改称
2008年	社団法人北海道住宅リフォームセンターの解散に伴い、その事業を継承
2012年	一般社団法人北海道建築技術協会に改称。創立60周年

協会概要

北海道建築技術協会は、建築物の品質、居住性、耐久性等の向上を図るための建築技術の開発、普及啓発、技術者育成等を目指す北の建築の知識を有する産・学・官が一体となった技術者集団です。

地域の人たちと技術者、研究者、行政担当者との連携・協力体制を築き、地域文化の創造、発展、継承に寄与する建築技術の発信を目指します。

アクセス

一般社団法人
北海道建築技術協会

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11大五ビル2階
地下鉄大通駅から徒歩5分、JR札幌駅から徒歩10分

Tel 011-251-2794　Fax 011-251-2800
E-mail info_hobea@hobea.or.jp
Website https://www.hobea.or.jp

Gマップ

北の建築知の拠点

知と実の融合による
新たな展開をめざして

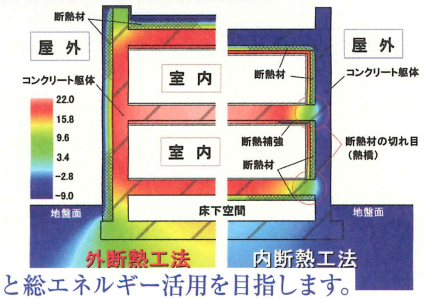
一般社団法人
北海道建築技術協会

Hokkaido
Building
Engineering
Association

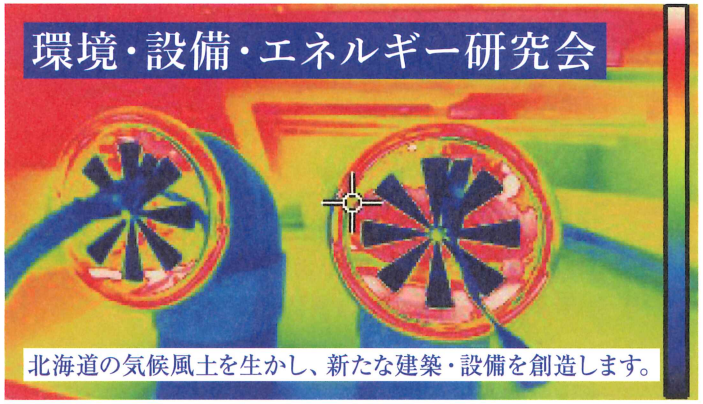
研究会のご紹介

会員参加
いつでも
歓迎！

外断熱建築研究会



長寿命化と総エネルギー活用を目指します。



詳しくは、ホームページの「研究会 / 委員会」メニューからご覧ください。 https://hobea.or.jp/committee/

協会の主な活動内容

(1) 調査・研究
- 寒地建築研究所、研究会、専門研究委員会による調査研究
- 国や北海道、市町村からの委託事業
- 民間からの委託調査

(2) 会員や技術者への情報提供・普及啓発
- 研修会、講習会、見学会、フォーラムの実施や情報配信
- 図書、技術資料、会報の発行

(3) 建築技術者、技能者の育成・認定・研修
- BIS（断熱施工技術者）講習会、認定試験
- 北海道住宅検査人（インスペクター）講習会、認定試験

(4) その他
- 住宅リフォーム事業者登録と事業者情報の提供

入会について　正会員区分に関する内規

区分			摘要	年会費／入会金（円）
正会員	法人会員	A	会社及び団体	60,000／30,000
		B	Aのうち、小規模（直近2年間における売上平均が3千万円未満）の事業を営む法人で、常任理事会において認められたもの	20,000／10,000
	個人会員		法人以外の個人で入会する者。ただし、会社及び団体に所属している場合は、常任理事会において認められた者に限る。	3,000／1,000

注1　会員区分と事業参加の関係

法人会員の場合はその法人に所属するすべての者が事業に参加することができ、個人会員の場合には加入者本人のみが参加できるものとする。ただし、法人を会員とする団体が当協会の会員であるときは、当該団体の構成員は当協会の会員扱いとはしない。

注2　会員区分について

1) 営利を目的としない公益法人、NPO法人は、入会を認めない（所属の入会希望者は個人として扱う）。

2) 業界団体等は法人会員とする。

入会案内